

# うじたわら

## 議会だより

No. 114

2023.2.1



後期議会構成決まる ..... P2

価格高騰補正予算可決 12月定例会 P3~P5  
中学生議会 P6  
町政ズバリ聞く (一般質問) P8~P11  
インタビュー (中沢 郁飛さん) P13

=二十歳のつどい=  
もうすぐ始まる式典の前に、  
晴れやかな衣装でポーズ



# 価格高騰補正予算 可決

## 小中学校給食費支援事業 うじたわらっ子家計応援事業等



学校給食Instagramより

**一般会計補正予算**  
(議案第44号)  
新市街地都市公園整備費や小中学校給食費支援、うじたわらっ子家計応援(子育て世帯への子ども一人当たり1万円の町内共通商品券配布)などを追加するもの

### 小中学校給食費支援事業費、来年度は

物価高騰分として1食の補助額が20円であるが、他市町では30円のところもあり、20円で賈量ともに維持できるのか、来年度に向けての考え方は。

**予算特別委員会**  
予算特別委員会は、12月14日、委員長に原田周一議員、副委員長に今西利行議員を選出し、令和4年度補正予算5件、条例関係3件について審査した。

### 予算特別委員会

# 後期 議会構成決まる

## 12月 定例会

委員会	職名	氏名
総務建設常任委員会	委員長	原田周一
	副委員長	宇佐美まり
	委員	山内実貴子
	委員	藤本英樹
	委員	今西利行



議長  
浅田 晃弘

委員会	職名	氏名
文教厚生常任委員会	委員長	馬場 哉
	副委員長	山本 精
	委員	榎木 憲法
	委員	森山 高広
	委員	上野 雅央
	委員	浅田 晃弘



副議長  
山内実貴子

職名	氏名
城南衛生管理組合議会議員	宇佐美 まり
	原田 周一
京都府後期高齢者医療広域連合議会議員	榎木 憲法
京都地方税機構議会議員	山内 実貴子



監査委員  
藤本 英樹

令和4年第4回定例会は12月5日から19日まで開催し、初日に後期議会人事を決定した。また、予算関係5件、条例関係8件、一般議案1件、人事関係2件について提案があり、原案通り可決・同意した。議員提出の意見書1件については、否決した。一般質問には7人がたち、活発な議論を展開した。

定例会

今年度は4月以降の物価上昇分と今後の見込みにより20円程度で賈えと考えている。今回の3学期分の補助予定通知の際に、今後は値上げもありうるとの文書を保護者宛てに発出し、理解を求めている。

小学校の施設維持管理費が増えている要因は、補正額が中学校の施設維持管理費の2.7倍となっている要因は、当初予算では小学校のプール使用に係る水道代を計上していなかったが、3年振りに両小学校で水泳授業を再開したためである。

町内の財政状況は厳しい。特別職の給与も減額していることから、期末手当の引き上げについては、見送るべきでは

将来本町にも大きな影響が及ぶ。森山高広議員が、身の丈に合った政策を行わず、ある程度のインフレを受け入れずに価格対策という補助金に頼れば、円の価値低下と財政悪化による増税を招き苦しむ。補助金は短期的には効果があるが、長期的には弊害しかない。

財政状況の厳しさは認識しているが、人事院勧告などで決定されたことには従っていききたい。減額については財政状況が好転すれば戻したいと考えるが、今はその状況ではなく、少しでも身を削るという思いで取り組んでおり、人事院勧告とは別で考えている。

### 反対討論

将来本町にも大きな影響が及ぶ

森山高広議員

町内の財政状況は厳しい。特別職の給与も減額していることから、期末手当の引き上げについては、見送るべきでは

### 反対討論

特別職の期末手当引き上げは辞退すべき

山本精議員

財政状況の資料によれば、今後も非常に厳しい財政運営を迫られる。令和4年の3月議会に、給料月額および期末手当の減額が可決された。そんな中、特別職の期末手当を引き上げることは辞退すべきであり、反対である。

### 人事案件

○公平委員会委員の選任同意

下岡 雅 昭氏

(南)



任期  
令和4年12月22日  
令和8年12月21日

### 議会運営委員会

委員長	山内 実貴子
副委員長	馬場 哉
委員	山本 精
委員	藤本 英樹
委員	原田 周一
委員	森山 高広
副委員長	上野 雅央
委員	榎木 実貴子
委員	宇佐美 まり
委員	今西 利行

### 広報編集委員会

委員長	森山 高広
副委員長	山内 実貴子
委員	上野 雅央
委員	榎木 実貴子
委員	宇佐美 まり
委員	今西 利行

定例会

山本精議員より、介護保険制度の改善を国に求める意見書(案)が提出され、19日の本会議において議員間で質疑応答が行われた。

○ 介護保険制度を継続していくため、ある程度の修正は必要になってくる。高齢化が進む中で介護支援制度を継続していくため具体案が出てからでもよいのでは。

○ 今年度、23年度から24年度で見直しの議論がされている。議論が終わって案が出てからでは時期が遅くなる。

○ 公費増額により、全額公費をめざすとあるが、税の公平性からしても、受益者負担が必要では。

○ 介護従事者の業務改善、人員配置の引き上げなど、介護従事者の施設での負担を少なくすることで、全額公費にすれば負担も少なく、改善される。

○ 介護従事者の業務改善、人員配置の引き上げなど、介護従事者の施設での負担を少なくすることで、全額公費にすれば負担も少なく、改善される。

### 介護保険制度の改善を国に求める意見書(案)要旨

介護保険制度がスタートして22年になるが、制度見直しのたびに、必要な人が必要な時に利用できない状況が生まれ、家族介護を理由とした介護離職、介護事業所では深刻な人手不足と低い介護報酬の下での経営難が続いており、コロナ禍はこうした事態を一層加速している。

政府は、2024年に向けて、利用料2、3割負担の対象拡大、要介護1、2のサービス削減など、利用者の負担増と給付削減を進めている。

誰もが、お金の心配なく、必要な介護サービスが受けられ、介護する人も受ける人も大切にされるよう、介護制度の抜本的改善が必要であり、国に次の項目を実施するよう求める。

- 1 利用料の自己負担の原則2割への引き上げや、要介護1、2の訪問介護・通所介護などの保険ははずし、ケアプランの有料化はよく検討すること。
- 2 介護老人施設・介護療養型医療施設・介護医療院の多床室(相部屋)室料負担を新設しないこと。
- 3 公費の増額により、全額公費をめざし、介護従事者の処遇改善や人員配置基準の引き上げ等職員体制の強化を行うこと。
- 4 新型コロナウイルス感染症対策の強化と必要な財政支援を行うこと。
- 5 介護保険財政における国庫負担の割合を引き上げ、保険料、利用料の引き下げ等、制度の抜本的見直しについて考えること。

○ 介護従事者の業務改善、人員配置の引き上げなど、介護従事者の施設での負担を少なくすることで、全額公費にすれば負担も少なく、改善される。

○ 介護従事者の業務改善、人員配置の引き上げなど、介護従事者の施設での負担を少なくすることで、全額公費にすれば負担も少なく、改善される。

○ 介護従事者の業務改善、人員配置の引き上げなど、介護従事者の施設での負担を少なくすることで、全額公費にすれば負担も少なく、改善される。

○ 介護従事者の業務改善、人員配置の引き上げなど、介護従事者の施設での負担を少なくすることで、全額公費にすれば負担も少なく、改善される。



コンビニの多機能端末機

○ 証明書1通あたりの手数料は窓口交付とコンビニ交付で同額か、町

宇治田原町印鑑条例の一部改正(議案第54号) コンビニなどで、マイナンバーカードを用いて印鑑登録証明書を取得できるようにするもの

○ HPや広報紙以外での住民への周知方法は、

○ 手数料はコンビニ交付を実施している市町村のほとんどが窓口と同額となっており、300円を進めている。マイナンバーカードの普及促進も含めしつかり周知できるように検討したい。

○ 手数料はコンビニ交付を実施している市町村のほとんどが窓口と同額となっており、300円を進めている。マイナンバーカードの普及促進も含めしつかり周知できるように検討したい。

○ 手数料はコンビニ交付を実施している市町村のほとんどが窓口と同額となっており、300円を進めている。マイナンバーカードの普及促進も含めしつかり周知できるように検討したい。

○ 手数料はコンビニ交付を実施している市町村のほとんどが窓口と同額となっており、300円を進めている。マイナンバーカードの普及促進も含めしつかり周知できるように検討したい。

### 〈報告事項〉

まちづくり推進課

- ・ 令和4年度第2回宇治田原町空家等対策協議会の開催結果
- ・ 新名神高速道路建設事業等の進捗状況
- ・ 上下水道課
- ・ 国道307号(城山大橋東詰)送水管漏水事故について

### 文教厚生常任委員会

12月13日、付託議案1件を審査した。また、報告事項1件があった。

○ 宇治田原町民生児童委員協議会の体制について



民生児童委員協議会役員の皆さん

### 総務建設常任委員会

12月12日、付託議案5件を審査した。また、報告事項3件があった。

○ 押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定(議案第49号)

○ 申請などに必要な押印についての見直しを行い、支障がないものについて、押印を廃止するもの

○ 規則などの改正については各課と調整しており、役場庁舎内の押印廃止についても年度内に完了し、令和5年4月から施行したいと考えている。



マイナンバーカード申請コーナー

### 傍聴のご案内

宇治田原町議会を傍聴しませんか。傍聴券は本会議・委員会当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp>)をご覧ください。議会事務局(☎88-6641)までお問い合わせください。



議会の日程はこちらから



### 議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席・△除斥]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	山内	榎木	馬場	森山	山本	宇佐美	藤本	今西	上野	原田
意見書	意見書第1号	介護保険制度の改善を国に求める意見書(案)	✓		否決	●	●	○	●	○	●	●	○	●	●
人事	議案第58号	宇治田原町公平委員会委員の選任について(下岡雅昭氏)			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第59号	宇治田原町監査委員の選任について(藤本英樹氏)			同意	○	○	○	○	●	○	△	●	○	○
予算	議案第44号	令和4年度宇治田原町一般会計補正予算(第4号)(うじたわらっ子家計応援事業費等の追加)【8,753万3千円の追加】	✓		可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
	議案第45号	令和4年度宇治田原町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)(人事異動等に伴う職員人件費等の追加)【250万円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第46号	令和4年度宇治田原町介護保険特別会計補正予算(第2号)(人事異動等に伴う職員人件費の減額等)【3万6千円の減額】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第47号	令和4年度宇治田原町水道事業会計補正予算(第2号)(水道事業電気料金高騰対策支援事業負担金等の追加等)【収益的収入 619万7千円の追加】【収益的支出 1,240万7千円の追加】【資本的支出 32万4千円の減額】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第48号	令和4年度宇治田原町下水道事業会計補正予算(第1号)(人事異動等に伴う職員人件費の減額・追加)【収益的支出 24万3千円の減額】【資本的支出 353万2千円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例制定	議案第49号	押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例を制定するについて(押印の見直しに伴う関係条例の整備)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正	議案第50号	宇治田原町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(人事院勧告に基づく期末・勤勉手当の改正、4.30月→4.40月)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第51号	特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(人事院勧告に基づく期末手当の改正、3.25月→3.30月)	✓		可決	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○
	議案第52号	宇治田原町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(人事院勧告に基づく期末手当の改正、3.25月→3.30月)			可決	○	○	○	○	●	○	○	●	○	○
	議案第53号	宇治田原町議会議員及び宇治田原町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(選挙運動の公費負担額を国政選挙に準じて改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第54号	宇治田原町印鑑条例の一部を改正する条例を制定するについて(印鑑登録証明書をコンビニで取得できるための改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第55号	宇治田原町老人医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(法律の改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第56号	宇治田原町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(給水区域及び給水人口等の変更)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第57号	京都府市町村職員退職手当組合規約の変更について(相楽郡広域事務組合の名称変更による)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

◎浅田議長は賛否同数以外は表決に加わりません

## 議会活性化特別委員会主催 中学生議会

まちづくり授業を経験する予定の維孝館中学校の生徒(3年生)が、議員となって議場で質問を行い意見交換をしました。まちづくりを考える場とするとともに、議会の雰囲気を感じ、身近な町政の業務の一端を学ぶことにより、町議会への関心を高めてもらうことを目的に、開催しました。

中学生議会は、令和4年12月18日に議場にて行われ、中学生は投票による選挙によって議長を選び(副議長は次点の者)、中学生議長が議事を進めるなど、本番さながらの議会を行いました。

応募していただいた中学生議員4名が出席し(1名欠席)、町政全般に関する質問を行い、理事や課長役をつとめた議員が答弁を行いました。中学生議員の質問は、議会で生かしていきたいと思えます。

質問と答弁の抜粋は次の通り。

問 交通機関を利用している学生への補助の充実は。

答 現在建設中の山手線が完成し、企業が増えていけば、その分税収も向上し、補助金を増額することは可能と思えます

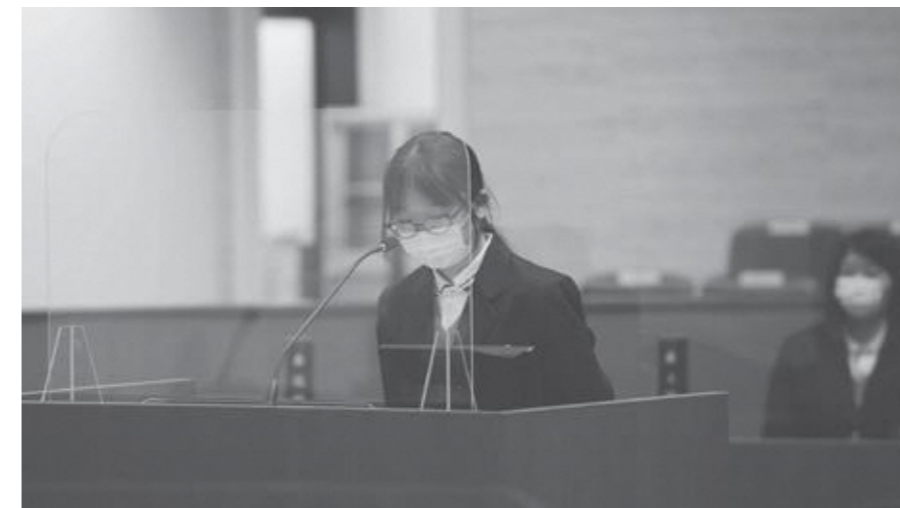
が、現状のままでは、高校生の通学費補助の見直しは困難です。

問 バスの増便は可能か。

答 利用者が多ければバス会社にも利益が発生しますが、利用者が少ないと利益も少額になります。バス会社が赤字を被って本数を増やすと、将来的にはバス会社が倒産してしまう可能性もあります。民間バスの利用者が増えたと、本数も増える可能性はありますが、バスの運転手不足という問題もあり、本数を増やすことは難しいのではと考えます。



終了後、集合写真を撮影(左から 浅田和音さん、上田莉子さん、伊藤美都さん、安井陽菜美さん)



質問中の中学生議員

# 令和5年度予算編成と重点施策は

## ビルド&スクラップをさらに推進

新名神の天津〜城陽間開通が令和6年度に延期された。産業活性化や雇用創出にブレーキがかかり財政への危惧を感じる。財政難の中での令和5年度の予算編成と重点施策は。

答 (町長)

「第5次まちづくり総合計画」「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、山手線に主眼をおいた予算編成をしていく。歳出削減にはビルド&スクラップをはかり、歳入確保には特定財源の活用やふるさと納税の推進に取り組む。

### 山手線の促進策は

山手線は「南〜役場間」「緑苑坂〜滋賀県への北線」について形が見えてきた。今後重要なのが「役場〜岩山」の未整備区間である。早期全線開通に向けた取り組みは。

答 (町長)

早期開通をめざし府事業への協力を進め、町も全力で取り組みたい。これには町の費用負担も伴うことから財源確保に「企業版ふるさと納税」を推進する。私がトップセールスに立ち1日も早い開通をめざす。



えのきのみち 榎木憲法議員



開通を待つ山手北線

# 伴走型相談支援の取り組み方は

## 町ならではの環境整備に取り組む

宇治田原版ネウボラ（相談できる場所）として、子育て支援センターの充実に尽力されてきた。課題は。

答 (子育て支援課長)

相談できる場所があることを知っていただき、コロナ禍でも工夫や情報発信など支援を行ってきたい。

交付金を活用した伴走型相談支援などへの取り組み方は。

答 (子育て支援課長)

これまでの取り組みを分析し、本町ならではの全ての妊婦・子育て家庭が安心できる環境整備を行っていく。

### 献血理解へ厚労省の冊子活用は

宇治田原町の子どもたち、ご家族の方へと献血への理解と協力への思いが広がっていくよう、厚生労働省の冊子の活用を考えるが。

答 (教育次長)

献血の重要性などを伝える機会を設けることができると考えている。

献血体験を聞く機会をもち、継続的に献血教育として取り組んでは。

答 (教育次長)

中学生の献血に対する意識向上につながるよう考えていく。



やまうちみきこ 山内実貴子議員



相談できる場所子育て支援センター

# 町政を問う

## 一般質問

12月8日

一般質問とは、議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。※印の質問事項は本紙には掲載しておりません。詳しくは録画による動画配信をご覧ください。



	質問者	質問事項
1	山本 精 (P 8)	1. 高齢者対策
2	榎木憲法 (P 9)	1. 令和5年度予算編成 2. 山手線早期開通促進
3	山内実貴子 (P 9)	1. 子育て支援 2. 献血教育 3. 継続した防災訓練 ※

	質問者	質問事項
4	宇佐美まり (P10)	1. 地域住民の生活環境
5	今西利行 (P10)	1. 子育て支援 2. 防災対策 ※
6	森山高広 (P11)	1. ストリートビューの本町での活用 2. 町HPの改善 ※
7	上野雅央 (P11)	1. 地域共生社会の実現

# 加齢性難聴者に補聴器購入補助は

## 国および府の動向を注視する

聞こえが悪くなると、補聴器に頼るしかない。補聴器は値段が高く、使にくい。

厚労省の「自治体における難聴高齢者の社会参加等に向けた適切な補聴器利用とその効果に関する研究」では、自治体における難聴高齢者の把握の取り組みがほとんどされていないとことがわかった。本町の加齢性難聴者対策は。

答 (福祉課長)

加齢性難聴対策としては、「聞こえのサロン」を町社会福祉協議会が開催

し、聴力測定や補聴器相談を行っているほか、府家庭支援総合センターによる専門医の巡回相談など関係機関とも連携し、難聴症状の発見や対処法に関する情報提供などを実施している。

補聴器の装着が認知症の発症、進行に一定の効果があることから、加齢性難聴者への補聴器購入補助を。

答 (福祉課長)

認知症に対する有効的施策の一つとして、補聴器の活用も含め、どのような制度が構築されていくのか、国および府の動向を注視する。



やまもとただし 山本精議員



色々な補聴器の種類



# ストリートビューの活用を

## 施設の所管課と調整し検討したい



もりやまたかひろ  
森山高広議員

○ ストリートビューは自治体でも観光地案内、登山道案内など多岐に利用されている。私はアプリを使って、くつわ池、神社など多くの場所を登録してきたが、かなり人気がある。

役場の内部、中央公園、住民グラウンド、総合文化センターなどの公式ストリートビューの登録、また古くなった既存のストリートビューの更新を行ったらどうか。

○ (総務課長)

ストリートビューは便利なツールであり、観光地や公共施設内の画像を公開し、まちのPRに活用している自治体もある一方、セキュリティやプライバシー面での課題も認識している。本町では、文化・スポーツ・観光等の集客施設などにおいて、ストリートビューが馴染むのではないかと考えており、今後、それら施設の所管課とも調整し、検討していきたい。



ストリートビューに使用する360°カメラ

# 地域共生社会の実現は

## 複層的支援に当たっていく



うえのまさお  
上野雅央議員

○ 全ての住民が、生きがいを共に創り高め合うことができる「地域共生社会の実現」に向けて町の見解は。

○ (福祉課長)

本町が目標とする地域共生社会は国と異にするものではなく、令和4年度策定の「第3期地域福祉計画」で福祉のまちづくりを推進する基本的な視点を定め「公助」の役割を再認識し、行政サービスの提供や地域福祉推進への機運醸成に取り組む。

○ 包括的な支援体制の構築における「重層的支援体制整備事業」の取り組

みにあたり、行政をはじめ関係団体の連携など、いかに変わっていくのか。

○ (副町長)

整備されている制度を利用した支援が受けられるよう、相談者に寄り添った対応の継続と併せ、社会福祉協議会など既存の支援機関との相互連携強化により、ニーズの変化に伴い支援者が複層的に当たっていく。相談しやすい環境づくりの取り組みとともに、相談行動を促す働きかけを民生児童委員などの地域で活動されている方々とともに進めていく。



役場の窓口

# 空家対策の充実と推進は

## 現計画をさらに拡充し次期計画へ



うさみ  
宇佐美まり議員

○ 現在進められている空家等対策計画の改定に向け、協議会で検証された内容や焦点となった点など、次期計画への方向性は。

○ (建設事業担当理事)

改定計画素案では「空家所有者へのアプローチ手法の改善」「空家を活用し移住定住者が活躍できる場づくり」「専門性の高い相談体制の充実など」を位置づけ、現計画をさらに拡充した次期計画にしたい。

○ 空家所有者へのアプローチの工夫として、空家の利用を希望されている側からの「生の声」を所有者側に伝える取り組みを。

○ (副町長)

個人情報保護などの課題をクリアしたうえで、空家バンク利用登録者の具体的な条件・ニーズなどの思いをお知らせし、空家所有者に働きかけるなど、移住定住希望者の「生の声」を伝えるような工夫を一つの手法として、実践に努めたい。



空家バンク登録の一例

# 子育て支援のさらなる拡充は

## 総合的な見地で必要施策を推進



いまにしとしゆき  
今西利行議員

○ 高校生のバス代補助の削減については、保護者の落胆が大きい。早急に全額補助に戻すべきでは。

○ (教育次長)

持続可能な制度とするべく、見直してきた。今後もこの基本的姿勢で取り組む。

○ 学校給食費は、様々な費用の中で最も負担が重い。無償化制度が全国的に広がる中、本町においても給食費の無償化を。

○ (教育次長)

本年度2学期と3学期の給食費全額

を町が負担することとし、可能な限りの対応をしている。今後、優先順位を考慮し、検討していく。

○ 岡山県奈義町は、子育て支援が手厚く出生率は2.95である。子育て世代の移住・定住と人口増をめざすため、子育て支援のさらなる拡充を。

○ (副町長)

限られた財源の中、「まちの宝」である子どもたちに、何が必要か、何ができるかを総合的に見定め、各種施策を推進していく。



高校生の通学バスの様子

一般質問

一般質問



総務建設常任委員会

10月25日、各課の第3・四半期の事業執行状況、報告事項5件があった。

〈事業執行状況〉

総務課

女性消防団員の年齢構成は

○ 申し出のあった6名の年齢構成は。
○ 20代から50代までの幅広い年齢構成の方に承諾をいただいている。

企画財政課

役場庁舎跡地整備事業は

○ 役場跡地および隣接民有地の一括活用とは。
○ 隣接民有地は無道路地であるため、役場跡地と一体利用として活用できるとの募集したい。

税住民課

・ 令和4年度町税徴収実績(第2・四半期)
・ 令和4年度人口動態集計(第2・四半期)

まちづくり推進課

・ 「新しい地域公共交通」運行の開始について

上下水道課

・ 宇治田原町水道事業及び下水道事業経営等審議会令和4年度第2回会議結果概要

○ 上下水道の使用料改定に向けては。

○ 水道事業の営業収支状況や、下水道事業を単独公共システムか広域化システムにするのかをコストを示し、住民への説明が必要である。

文教厚生常任委員会

10月24日、各課の第3・四半期の事業執行状況、報告事項2件があった。

〈事業執行状況〉

福祉課

臨時特別給付金について高齢者世帯への対応は

○ 高齢者世帯などで手続き方法が分からない場合の対応は。
○ 問い合せには、きめ細かに対応している。

健康対策課

○ 非課税でないボーダー世帯への制度拡充は。

○ 困窮されている方への対応については、引き続き検討していく。

コロナワクチン接種証明書の対応は

○ 新型コロナワクチンの接種証明書について紙ベースの対応は。
○ 接種証明があればその場で発行、接種証明がなくても5〜10分で発行している。

○ 7月にA1ドリルが導入されたが、現場の受け止めは。

学校教育課

A1ドリルについて

○ 学習履歴が残ることや、自動採点で、次の段階へのステップがスムーズなど、おおむね好評である。

社会教育課

○ スマートフォン講座の内容は。

○ 電源の入れ方、カメラの使い方、アプリのインストールの仕方などを実施している。個別の相談も受け付けている。

学力向上のために少人数学級を

○ 全国学力・学習状況調査結果をふまえ、学力充実のために、さらなる教員の配置が必要では。
○ 京都市式少人数学級で運用しており、補助教員も配置している。

談会も予定している。

〈報告事項〉

学校教育課

いじめ調査結果について未解消事例の対応は

○ 未解消の事例について原因の分析や対応は。
○ 毎月いじめ調査委員会を開き、事案について検討し、対応を協議して早期解決を図っている。
・ 令和4年度全国学力・学習状況調査結果の分析と学力向上に向けた取組

二十歳のつどい代表

なかざわ いくと 中沢 郁飛 さん

二十歳のつどい実行委員長の中沢郁飛さんにインタビューしました。



Q. 将来の夢、また挑戦したいことは

A. 英語、多言語です。最近やっと海外へ行くことへの制限が緩和され、海外旅行へ行きたい気持ちが強くなりました。できるだけ不安要素を持って行きたくないので、多言語への挑戦をしていきたいです。

Q. 宇治田原町に思うことは

A. バスの本数が少ないこと、最終バスが早いことは不便に感じていました。しかし、田辺からバスで帰ってくると、森や自然が目につき、気持ちがいいです。

Q. 20歳を迎えての感想は

A. 言葉、意志、行動に、より一層責任を持たなければいけないと思いました。

Q. ウイズコロナ時代の向き合い方は

A. 完全に元の環境に回復することはもうないと思います。この環境に不満を持ってストレスが溜まるだけだとシンプルに考えることにしています。

Q. ご両親(ご家族の方)にひとこと

A. 20歳になってより一層感謝することが増えました。これからは、これまでいただいた恩を返していきたいと思っています。



一筆書き



集合写真



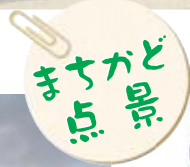
浄化センター



令和4年11月4日、谷口整前議長  
がご逝去されました。  
謹んでお悔み申し上げますと  
ともに、心よりご冥福をお祈りいた  
します。



出初式の様子



西ノ山展望広場の初日の出



議場を見学する園児たち

次回議会の予定  
〈3月定例会〉  
**3月3日(金)開会日**  
詳しい予定はHPにて  
お知らせします。



今号より新メンバーで  
編集を行います。世間の  
急速なIT化に対応する  
ため、本委員会でもクラ  
ウドサービスの利用、横  
書きスタイルへの移行な  
どを徐々に推進していく  
予定です。新メンバーで  
頑張りますので、よろし  
くお願い致します。  
広報編集委員長 森山

編  
集  
後  
記